

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2004-353865 (P2004-353865A)

【公開日】平成 16 年 12 月 16 日 (2004.12.16)

【年通号数】公開・登録公報 2004-049

【出願番号】特願 2004-129400 (P2004-129400)

【国際特許分類】

**F 1 6 G 13/06 (2006.01)**

**F 1 6 G 13/02 (2006.01)**

**F 1 6 G 13/04 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 G 13/06 Z

F 1 6 G 13/06 E

F 1 6 G 13/02 E

F 1 6 G 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 28 日 (2006.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動力伝達用チェーンであって、

各々一對の開孔が形成されかつ長さ方向および厚み方向に積層されるとともに、各開孔内に挿入された連結ピンにより各々枢支可能に連結された複数の内側リンクからなるリンク列を有し、各々一對の開孔を有するガイドリンクが一つおきのリンク列の外側に配置されており、これにより、チェーンが、ガイドリンクを含むガイド列と、ガイドリンクを含まないノン・ガイドリンク列とから構成されており、連結ピンが第 1 のロッカーピンと第 2 のピンから構成されるとともに、第 1 のロッカーピンがすべての内側リンクを越える位置まで延びており、第 2 のピンがガイドリンクを越える位置まで延びるとともにその端部がガイドリンクの開孔に固定されており、

チェーンの両側部において、ガイドリンクとこれと隣り合う最外側の内側リンクとの間に配置され、ガイドリンクと最外側の内側リンクとの間の離間関係を維持するように作用するスペーサ要素を備え、

スペーサ要素の少なくとも一つが、厚み方向に隣り合う各内側リンク間に押付力を作用させて摩擦力を発生させるばねリンクであって、チェーン長手方向に隣り合う連結ピンの間に延設されるとともに、隣り合う各連結ピンにおける第 1 および第 2 のロッカーピンが最外側の内側リンクと連係しており、第 1 のロッカーピンがノン・ガイド列における最外側の内側リンクの開孔を挿通して延びており、ばねリンクによりガイドリンクと最外側の内側リンクとの間にスペースが形成され、第 1 および第 2 のロッカーピンが最外側の内側リンクの開孔内において全幅を支持している、

ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 2】

請求項 1 において、

チェーンの両側部に配置されるスペーサ要素がいずれもばねリンクである、

ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 3】

請求項 1 において、

チェーンの一方の側部に配置されるスペーサ要素がばねリンクであり、チェーンの他方の側部に配置されるスペーサ要素がワッシャーである、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 4】

請求項 1 において、

チェーンの一方の側部に配置されるスペーサ要素がばねリンクであり、チェーンの他方の側部に配置されるスペーサ要素が、最外側の内側リンクの外側面に形成されてガイドリンクの側に突出する複数の突起部である、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 5】

請求項 1 において、

チェーンの一方の側部に配置されるスペーサ要素がばねリンクであり、チェーンの他方の側部に配置されるスペーサ要素が、ガイドリンクの内側面に形成されて最外側の内側リンクの側に突出する複数の突起部である、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 6】

請求項 1 において、

チェーンの一方の側部に配置されるスペーサ要素がばねリンクであり、チェーンの他方の側部に配置されるスペーサ要素が、ガイドリンクの中央に形成された中央湾曲端部である、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 7】

請求項 1 において、

スペーサ要素が、ガイドリンクおよび最外側の内側リンク間のスペースを維持している、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 8】

請求項 1 において、

第 2 のピンがガイドリンクの開孔に圧入されている、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【請求項 9】

請求項 1 において、

連結ピンが断面円形の丸ピンである、  
ことを特徴とする動力伝達用チェーン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項 1 の発明に係る動力伝達用チェーンは、各々一對の開孔が形成されかつ長さ方向および厚み方向に積層されるとともに、各開孔内に挿入された連結ピンにより枢支可能に連結された複数の内側リンクからなるリンク列を有しており、各々一對の開孔を有するガイドリンクが一つおきのリンク列の外側に配置されている。チェーンは、ガイドリンクを含むガイド列と、ガイドリンクを含まないノン・ガイドリンク列とから構成されている。連結ピンは、第 1 のロッカーピンと第 2 のピンから構成されるとともに、第 1 のロッカーピンがすべての内側リンクを越える位置まで延びており、第 2 のピンがガイドリンクを越

える位置まで延びるとともにその端部がガイドリンクの開孔に固定されている。チェーンの両側部には、ガイドリンクとこれと隣り合う最外側の内側リンクとの間の離間関係を維持するように作用するスペーサ要素が設けられている。スペーサ要素の少なくとも一つは、各内側リンク間に押付力を作用させて摩擦力を発生させるばねリンクであって、チェーン長手方向に隣り合う連結ピンの間に延設されるとともに、隣り合う各連結ピンにおける第1および第2のロッカーピンが最外側の内側リンクと連係しており、第1のロッカーピンがノン・ガイド列における最外側の内側リンクの開孔を挿通して延びており、ばねリンクによりガイドリンクと最外側の内側リンクとの間にスペースが形成され、第1および第2のロッカーピンが最外側の内側リンクの開孔内において全幅を支持している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

請求項8の発明では、請求項1において、第2のピンがガイドリンクの開孔に圧入されている。